

平成28年度 公益財団法人富山県体育協会事業報告

本県のスポーツの普及・振興や競技力向上の推進母体として、加盟団体及び関係機関と連携し、次の諸事業を展開した。

I 法人運営について

(1) 諸会議等の開催

事業の適時適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名		回数	期 日
評議員会		1回	平成28年 6月23日 (木)
		2回	平成29年 3月28日 (火) 決議の省略の方法による書面審議
理事会		1回	平成28年 5月26日 (木)
		2回	平成28年 6月23日 (木)
		3回	平成28年 11月11日 (金)
		4回	平成29年 3月14日 (火)
		5回	平成29年 3月22日 (水) 決議の省略の方法による書面審議
専 門 委 員 会	総務委員会	1回	平成28年 5月26日 (木)
		2回	平成28年 7月15日 (金)
		3回	平成28年 11月11日 (金)
	普及委員会	1回	平成28年 7月15日 (金)
		2回	平成28年 11月24日 (木)
	強化委員会	1回	平成28年 4月13日 (水)
		2回	平成28年 7月15日 (金)
		3回	平成28年 8月 9日 (火)
		4回	平成28年 12月19日 (月)
	スポーツ医・科学委員会	1回	平成29年 3月27日 (月)

(2) 各種スポーツ関係団体の功労者及び優秀選手等の表彰

永年にわたり本県のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著と認められた者や本県のスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体及び個人を平成28年12月1日に表彰した。

特別表彰	個人 19名	団体 4団体
国体表彰	個人 16名	団体 11団体
感謝状	個人 9名	
特別感謝状	個人 1名	
計	個人 45名	団体 15団体

(3) 競技団体への経理指導

競技団体への経理について、より適切に事務処理を行うため、適宜顧問税理士による経理指導を行った。特に、富山陸上競技協会ほか8団体については、平成28年12月7日・8日及び12月12日、税理士等により会計諸帳簿（現金出納簿や領収書等）検査などの個別指導を実施した。

II 公益目的事業

1. スポーツ普及振興事業

県民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、健康レベル・体力レベルに応じた事業を展開した。各事業の実施については、専門性を有する理事等による専門委員会及び特別委員会を構成し、意見等を反映しながら、各分野の資格を有する当協会の職員が中心となって各事業を企画・立案し、関係団体と連携を図りながら事業を行った。なお、指導者のスポーツ指導における暴力の根絶に向け、本協会が実施する各種研修会等あらゆる機会を通して、周知徹底を図った。

(1) 県民のスポーツ振興及び広報啓発事業

① スポーツに関する広報啓発事業

各種イベントや行事予定など、スポーツに関する情報を広く県民に周知するために、次の広報誌等を作成するとともに、だれでも必要な情報等を簡単に検索できるよう、親しみやすいホームページの充実を図った。

ア. 広報誌の発行

名称	発行部数	配布先	備考	発行元
体協 TOYAMA	2,330部/回	加盟団体、市町村教委、アスリート卒業生ほか	年1回発行	県体育協会
スポーツパレス便り	2,500部/回	市町村関係団体、県立学校ほか	年11回発行	県総合体育センター
ジムワールド	3,000部/回	呉西地区県立学校、近隣企業ほか	年12回発行	県西部体育センター
HEALTH SWIM in TAKAOKA	2,600部/回	県立学校、近隣企業ほか	年4回発行	県高岡総合プール
スポーツリーダーとやま	2,000部/回	公認スポーツ指導者、加盟団体、市町村教委ほか	年1回発行	県公認スポーツ指導者協議会

イ. インターネットを利用した情報発信

各種スポーツの情報ネットワークの中核としての機能化の充実を図った。

(ア) 本会HP上での各種スポーツ情報の発信

(イ) 地域スポーツ団体やスポーツ指導者パスネットとやまの情報発信

(ウ) メールを利用したスポーツに関する情報（JISSや日本体育協会等）の発信

(エ) 上記(ア)～(ウ)と、スポーツ情報ネットワーク《県委託事業：県総合体育センター》を活用し、本県の各種スポーツ情報の充実を図った。

② エンジョイスポーツサポート事業

地域住民の誰もが参加できるスポーツ活動に対し助成を行い、スポーツに対する興味・関心を高めるとともにスポーツ人口の拡大を図った。

実施市町村	実施事業	参加者
高岡市 ほか2市	アクティブ・チャイルドプログラム ほか2事業	205名

③ 生涯スポーツ推進事業

県民が生涯にわたり、明るく豊かで、活力ある生活を営むために、それぞれの興味、関心、適性等に応じてスポーツを生活の中に位置づけ、主体的にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくりの推進を図った。

ア. 巡回指導 9回

イ. 研修会の開催

期 日	内 容	参加者数
平成28年11月26日(土) 平成28年12月18日(日)	地域スポーツクラブスキルアップ研修会(座学) ほか1講座 [参加対象者] ・市町村スポーツ関係団体 ・地域スポーツ関係者	11名
平成29年1月14日(日)	地域スポーツ指導者研修会(実技) ほか2講座 [参加対象者] ・市町村スポーツ関係団体 ・地域スポーツ関係者 ・スポーツ指導者パスネットとやま登録者	53名

ウ. 「スポーツ指導者パスネットとやま」登録者の指導状況調査、登録更新案内を送付

(2) 県民体育大会開催事業

広く県下にスポーツを普及・振興し、県民の健康と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の創造に寄与するため、次のとおり開催した。

① 第69回富山県民体育大会(夏季競技)

季	競 技	期日(中心会期)	場 所	参加者数
夏季	陸上競技 ほか41競技	平成28年7月23日(土) ～7月25日(月)	富山市 ほか9市3町	24,885名

大会成績 (二部郡市対抗)	一般	1位	富山市	2位	高岡市	3位	黒部市
	中学	1位	富山市	2位	砺波市	3位	高岡市

② 第70回富山県民体育大会（冬季競技）

季	競技	期 日	場 所	参加者数
冬季	スケート	(スピード) 平成28年12月10日(土) (フィギュア) 平成28年12月17日(土)	長野県茅野市運動 公園国際スケートセンター 富山スケートセンター	36名
	アイスホッケー	平成28年10月1日(土) ～10月22日(土)	富山スケートセンター	159名
	スキー	(クロスカントリー) 平成29年1月14日(土) ～1月15日(日) (アルペン) 平成29年1月13日(金) ～1月15日(日) (フリースタイル) 平成29年3月12日(日) (スノーボード) 平成29年3月11日(土)	たいらクロスカントリーコース たいらスキー場 立山山麓スキー場極楽坂エリア IOXアローザスキー場	563名
合 計				758名

(3) スポーツ指導者の養成

① スポーツ指導員養成講習会開催事業

県民のスポーツニーズが多様化する中で、専門性をもった指導員の養成が望まれているところであり、(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度の資格取得講習会を開催し、資格保持者の資質向上を図るため、次の研修会を開催した。

ア. 日本体育協会公認指導者養成講習会

資格名	科目	競技名	会場	参加者数
指導員	専門科目	・テニス	・富山県岩瀬スポーツ公園	16名
		・ハンドボール	・氷見市ふれあいスポーツセンター	19名
		・スポーツクライミング	・桜ヶ池クライミングセンター	23名
		・アーチェリー	・黒部市ふれあい交流館	48名
上級指導員	専門科目	・空手道	・黒部市総合体育センター	50名
	共通科目		・富山県総合体育センター	47名

イ. 富山県公認スポーツ指導者研修会

期 日	内 容	会 場	参加者数
平成28年11月6日(日)	「スポーツの指導方法について」 「指導者に必要なコミュニケー ションスキル」	アイザック小 杉文化ホール ラポール	256名

(4) スポーツ少年団育成事業

日本スポーツ少年団が掲げる「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」、「スポーツを通して、青少年のからだところを育てる」という理念に基づき、本会が設置する富山県スポーツ少年団において、地域社会全体で子どもたちを育て、将来にわたり健全な生活を送れるよう、各種事業を展開した。

① 組織の充実

ア. 組織の整備強化

(ア) スポーツ少年団指導者顕彰事業

期 日	会 場	受賞者数
平成 28 年 11 月 27 日 (日)	射水市ヨシダ大島体育館	1 市 15 名

イ. 活動の充実

(ア) 富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

期 日	実施競技	会場	参加者数
平成 28 年 6 月 25 日 (土) ~ 平成 28 年 7 月 3 日 (日)	軟式野球競技 ほか 11 競技	県総合体育センター ほか 10 会場	2,882 名

(イ) 地域交流促進事業

期 日	実施スポーツ少年団	開催地	参加者数
平成 28 年 8 月 9 日 (火) ~ 平成 29 年 2 月 26 日 (日)	・高岡市 ・氷見市 ・射水市 ・立山町 ・滑川市 ・魚津市 ・富山市 ・南砺市	・長野県上田市 ・静岡県島田市 ・長野県千曲市 ・福井県福井市 ・滑川市 ・魚津市、糸魚川市 ・富山市 ・南砺市	623 名

(ウ) 母集団育成事業

期日	実施スポーツ少年団	参加者数
平成 28 年 4 月 2 日 (土) ~ 平成 29 年 1 月 22 日 (日)	滑川市・上市町・立山町(2 事業)・ 氷見市	329 名

② 指導体制の整備

ア. 各種講習会・研修会

(ア) 第 21 回スポーツ少年団指導者全国研究大会

期 日	開催地	受講者数
平成 28 年 6 月 26 日 (日)	東京都	3 名

(イ) 北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

期 日	開催地	受講者数
平成 28 年 11 月 12 日 (土)	新潟県	3 名

(ウ) 富山県スポーツ少年団指導者研修会

回	期 日	開催場所・講師・内容	受講者数
第 1 回	平成 28 年 11 月 27 日 (日)	射水市ヨシダ大島体育館	43 名
		静岡理工科大学 総合情報学部 教授 富田寿人 他 2 名 「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」	
第 2 回	平成 29 年 2 月 19 日 (日)	富山県総合体育センター	53 名
		大阪体育大学 スポーツ科学研究科 教授 土屋裕睦 「新しい時代にふさわしいジュニア期の指導法」 ～スポーツにおける暴力行為根絶を目指して～	

イ. 日本スポーツ少年団認定員養成講習会

期 日	開催場所	受講者数
平成 28 年 12 月 3 日 (土) ～12 月 4 日 (日)	富山大学高岡キャンパス	75 名
平成 28 年 12 月 10 日 (土) ～12 月 11 日 (日)	富山県総合運動公園	105 名

③ 交流活動の推進

ア. 国際交流の推進

日独スポーツ少年団同時交流

	第 43 回日独スポーツ少年団同時交流	
	派遣事業	受入事業
期 日	平成 28 年 7 月 31 日～8 月 17 日	なし
会場地	ドイツ連邦共和国 南バーデン地方	
人 数	1 名	

イ. 全国的・地域的交流の推進

(ア) 全国交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
平成 28 年 7 月 28 日 (木) ～ 平成 29 年 3 月 28 日 (火)	バレーボール競技 ほか 3 競技 1 交流会	福井県 ほか 2 県	49 名

(イ) 北信越ブロック交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
平成 28 年 7 月 17 日 (日) ～ 平成 28 年 11 月 13 日 (日)	ミニバスケットボール競技 ほか 4 競技 1 交流会	福井県 ほか 2 県	87 名

2. スポーツ強化推進事業

国民体育大会や全国大会等で優秀な成績を収めることは、県民に大きな夢と感動を与え、「元気とやま」の創造に資するものである。このことから、国民体育大会をはじめ、全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指し、関係団体と連携を図りながら、合宿・遠征事業をはじめ各種強化事業を実施し競技力向上に努めた。

(1) 県民の競技力向上の推進

① 国民体育大会等開催事業

ア. 第37回北信越国民体育大会

国民体育大会の主旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的として開催された。

(ア) 大会概要

会期	早期開催 平成28年5月7日(土)～8月21日(日) 中心会期 平成28年8月26日(金)～28日(日)
会場地	長野県下11市・3町・2村 新潟県1市
実施競技	カヌー競技 ほか31競技
参加人数	選手・監督 3,411名 本部・顧問 95名 計 3,506名

(イ) 選手団等

塩谷 雄一 団長 ほか705名
第71回国民体育大会本大会ブロック代表数 52代表獲得

イ. 国民体育大会

第71回大会の本大会は岩手県で開催され、男女総合成績(天皇杯)は21位であった。また、第72回冬季大会スピードスケート競技は長野県長野市で、アイスホッケー競技は長野県軽井沢町で、スキー競技は長野県白馬村で開催され、冬季大会終了時点で、男女総合成績は19位である。

(ア) 大会概要

回	季	期日	場所 (参加者数)	成績
71	本大会	会期前 平成28年9月4日(日) ～9月11日(日) (水泳競技ほか2競技)	岩手県 (481名)	入賞数※ 60 優勝 ・陸上競技 ・バドミントン競技 ・ウエイトリフティング競技 ・カヌー競技
		中心会期 平成28年10月1日(土) ～10月11日(火) (陸上競技ほか33競技)		

72	冬季大会	スケート アイスホッケー	平成 29 年 1 月 27 日 (金) ～ 1 月 31 日 (火)	長野県 (23 名)	入賞数※ 12
		スキー	平成 29 年 2 月 14 日 (火) ～ 2 月 17 日 (金)	長野県 (68 名)	

※競技別総合成績を含む

(イ) 選手団等

本大会 石井 隆一 団長 田中 一郎 副団長 ほか 480 名
 冬季大会
 ・スケート・アイスホッケー競技会 老月 守 団長 ほか 22 名
 ・スキー競技会 田畑 裕明 団長 ほか 67 名

② 競技力向上事業

ア. 国体へ向けた選手強化

(ア) 合宿・遠征事業

強化指定選手等の強化を図るため、県内合宿・県外遠征・県外優秀チーム招へいを計画的に実施した。

(イ) 強化指定事業

選手指定：少年種別 37 競技、658 名 成年種別 41 競技 540 名 計 1,198 名
 スタッフ指定：41 競技 総監督 28 名 各種別監督 106 名 コーチ 75 名 計 209 名

(ウ) アドバイザー・トレーナー招へい事業

14 競技に 14 名のアドバイザー、17 競技に 19 名のトレーナーを招へいし、国体期間中及び合宿・遠征等で指導を受け、県内指導者の資質の向上と本県選手の競技力向上を図った。

(エ) 選手強化対策補助事業

国体での上位入賞を目指し、競技団体ヒアリング等を通じて各競技団体の現状の把握に努め、効率よく強化事業が展開されるよう競技団体との連携を密にした。また、競技団体強化担当者が、各種全国大会等での競技力調査を実施し、本県の戦力分析や優秀選手の発掘に努めた。

イ. 将来に向けた優秀選手の育成

(ア) 元気とやまスポーツ道場開催事業

中学校や高等学校の有望な逸材を発掘し、県内の拠点スポーツ施設において長期的な展望のもとに育成・強化を図った。

内 容	競技数	参加者数
練習会、講習会	アイスホッケー競技 ほか 17 競技	772 名

(イ) 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業

全国大会で優勝等の指導経験が豊かなスポーツ指導者を中・高等学校へ派遣し、部活動顧問の指導力及び部活動運営を支援することにより、本県スポーツの競技力向上と運動部活動の一層の充実を図った。

コーチ氏名	指導部活動	派遣校	指導回数
石川 春樹	バレーボール	富山第一高等学校 ほか 25 校	901 回
橘川 謙三	柔道		
坂巻 龍雄	ボート		
飛田 昌広	ホッケー		
金子 龍一	陸上競技		
山中 茂	スキー		

③ 未来のアスリート発掘事業

スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材育成のサポートを行った。

ア. 11 期生（平成 28 年 1 月指定）64 名

(ア) 育成プログラムの実施

実施回数	内 容	会 場
6 回	「メンタルトレーニング①～⑥」 大阪体育大学 特任教授 岡澤 祥訓	富山県総合体育センター 会議室 大・中アリーナ プール
3 回	「スポーツ栄養講座②～④」 西能病院 管理栄養士 舘川美貴子	
3 回	「コンディショニング③～⑤」 富山県総合体育センター 山地 延佳	
9 回	「コーディネーショントレーニング②～⑩」 (一社) コーチングバリュー協会 東根 明人	
1 回	スポーツ講演会 「富山からオリンピックへ ～2020 からのメッセージ～」 トイソクローポレーション 保田 賢也	
1 回	体力測定	トレーニング室

(イ) 視察研修

- ・期 日 平成 28 年 12 月 11 日（日）
- ・場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター

イ. 12期生（平成29年1月指定）66名

(ア) 育成プログラムの実施

実施回数	内 容	会 場
1回	「コーディネーショントレーニング①」 （一社）コーチングバリュー協会 東根 明人	富山県総合体育センター 会議室 大アリーナ
2回	「コンディショニング①, ②」 富山県総合体育センター 山地 延佳	
1回	「スポーツ栄養講座①」 西能病院 管理栄養士 舘川美貴子	
1回	「スポーツ障害講座」 新潟県厚生連糸魚川総合病院 山上 亨	
1回	体力測定	

ウ. 奨励賞の授与

1期生から10期生の修了生の中で、各種スポーツ大会で活躍し、その功績が顕著と認められた3名に「奨励賞」を授与した。

エ. 修了生サポートプログラム

体力測定 2回 メンタルトレーニング 2回

新 オ. 修了生活躍状況の掲示

県総合体育センター正面入口横にボードを設置し、修了生の活躍状況を掲示した。

④ 競技スポーツ振興事業

小学生、中学生を対象に、スポーツ教室、記録会及び練習会を実施し、競技スポーツに対する興味・関心を高めることにより、競技スポーツ人口の拡大を図った。

内容	競技数	回数	参加者数
記録・練習会	スケート競技 ほか33競技	71回	14,521名
教室	スケート競技 ほか19競技	25回	9,314名

⑤ TOYAMAアスリートマルチサポート事業

本県競技力の一層の向上を目指し、各種強化事業と併せ、選手の発育・発達段階に応じた適切で、より効果的な医科学サポートを実施した。

とりわけ、2020年に開催される東京オリンピックを見据え、監督はじめコーチ・スポーツドクター・トレーナー等が連携を図りながら、個々の選手の体力測定結果等に基づくスポーツ医科学的サポートを積極的に展開し、全国や世界の檜舞台で活躍できるアスリートの育成に取り組んだ。

ア. 委員会等の開催

会議名	回数	開催月日
委員会	2回	平成28年 5月12日（木）
		平成29年 3月10日（金）

スタッフミーティング	3回	平成 28 年 11 月 13 日 (日)
		平成 29 年 1 月 15 日 (日)
		平成 29 年 2 月 11 日 (土)

イ. サポート内容

カテゴリー毎にサポート選手の指定 (20 競技 24 種目 計 786 名) をし、メディカルチェック (問診、血液検査、スポーツ障害診断) や体力測定、トレーニング指導、栄養サポート、スポーツメンタルサポート等を行った。また、大会や強化合宿の現場へスタッフを派遣するなど、要望に応じたサポートを行った。

また、大学・関係機関 (国立スポーツ科学センター (JISS) やナショナルトレーニングセンター (NTC)) と連携し、スポーツ医・科学調査・研究を行った。

さらに、報告書『HOW TO WIN』や情報誌『スポーツ医・科学的トレーニング情報』を発行するとともに、T-net でのスポーツ医・科学的情報の配信を行った。

ウ. スタッフ研修

県総合体育センター、県西部体育センターや高岡総合プールの当協会プロパー職員を中心に「大会等の帯同時の携行品の確認及び使用法について」や「トレーニング指導等について」の研修会を実施し、資質の向上に努めた。

⑥ スポーツ医・科学研修会等開催事業

ア. アンチ・ドーピング教育・啓発

国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育及び啓発活動の実施を通して薬物乱用や誤用の認識を高めるため、指導者や強化・普及担当者を対象とした講習会を開催し、健全なスポーツ活動を推進した。

期 日	対象者	講師	実施場所	参加者数
平成 28 年 7 月 17 日 (日) ～平成 28 年 11 月 12 日 (土)	サッカー競技 ほか 6 競技 平成 28 年度富山県体育 協会強化指定選手等	高岡市民病院 前田 明夫 ほか 3 名	日医工アカデミー セミナーハウス ほか 6 会場	223 名
内 容				
・ドーピングとは ・うっかりドーピングとは ・検査について ・TUE 申請とは等				

イ. 問診票による健康診断

県体育協会が指定する強化指定選手及び国民体育大会選手に対し、問診票による健康状態調査を実施した。

⑦ 全国的大会等開催助成事業

全国的・国際的大会や日本リーグ等レベルの高い大会への開催運営費を補助した。

実施期間	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	
実施競技	全国的・国際的大会	第 39 回 NHK 杯全日本選抜カヌースラローム大会 ほか 10 大会

⑧ 海外派遣選手激励事業

スポーツをする選手たちに夢と希望をあたえるとともに、スポーツ人口の拡大に繋げることを目的に、国際大会へ日本を代表として出場する選手・監督に激励費を渡した。

国際大会	助成大会	第 31 回オリンピック競技大会 (2016/リヂェジャネロ) ほか 8 大会
	派遣人数	延べ 19 名
	派遣先	ブラジル ほか 6 ヶ国

新 ⑨ 2020 東京五輪特別対策事業

オリンピック代表に選ばれた本県選手の関係競技団体等が行う現地激励や競技力調査等に対して支援した。(レスリング、柔道 ほか 4 競技団体)

⑩ スポーツ交流事業

スポーツを通じて、本県と他県又は他国との親善と友好をより一層深めるとともに、交流を通じて、本県のスポーツ振興を図るため、平成 28 年 11 月 9 日から 11 日にかけて韓国体育大学学長等を招聘し、競技スポーツ及び生涯スポーツに対して意見交換をした。

3. スポーツ施設を活用した各種事業と効率的な管理運営

県民が安全かつ快適にスポーツができるよう県総合体育センターをはじめとするスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興を図るとともに、健康・体力・生きがいつくりに寄与するため、次の各種事業を実施した。

(1) スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営

① スポーツ施設管理運営事業

施設管理業務とスポーツ振興のソフト事業を一体的に推進するとともに、効果的かつ効率的なサービスの提供に努めた。また、スポーツ人口の拡充を図るため、利用者のニーズに合わせた管理運営に努めた。

ア. 県営体育施設

施設名	利用人数 (人)	利用料金収入額 (円)
県総合体育センター	280,303	47,484,220
県西部体育センター	166,007	22,933,038
県高岡総合プール	86,247	18,666,812

県営富山弓道場	10,280	1,269,310
県漕艇場	19,567	1,028,960
県上市カヌー競技場	2,317	143,200

イ. 県体協体育施設

施設名	利用人数(人)	使用料収入額(円)
アオイスportsハウス	10,708	1,320,140
山野Sportsセンター	5,489	5,105,750
屋内相撲練習場	1,593	151,200

※山野Sportsセンターにおいて、耐震改修等工事を行い利便性の向上に努めた。【県補助金】

(2) 各種Sports教室開催事業

Sportsを始めるきっかけと楽しむことができる場を広く提供するとともに、それらによって作られた自主グループ活動の支援を行うために、次の各種教室を展開した。

Sports教室開催事業の実施状況

施設名	教室	実施回数(回)	のべ受講者数(人)
県総合体育センター	元気 TOYAMA Sports・文化はつらつ塾	50	1,844
県西部体育センター	トレーニング入門教室 ほか7教室	65	1,446
県高岡総合プール	初級水泳 ほか30教室	605	13,269
県営富山弓道場	弓道教室	92	494
県漕艇場	ボート体験教室(小学生・一般)	1	27
県上市カヌー競技場	カヌー体験教室	1	9

Ⅲ 収益目的事業

本会が管理運営する県総合体育センターほか5施設に自動販売機を設置し、飲料等を提供した。

また、本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業として、日頃Sportsに親しみのない県民がSports施設を知っていただくことで、今後のSports活動に拍車をかけるとともに、個々の体力に応じてSportsに親しむ契機になることを期待し、管理運営するSports施設の会議室等を公益目的事業以外で貸与した。